



藤澤市村岡道路愛護會

愛甲郡高峯村青年學校同村國民學校
小田原市小田原本町少年赤十字團

川崎市池田町道路愛護會

中郡太田村道路愛護會

津久井郡内郷村青年團

三浦郡初瀬村青年團三戸支部

横濱市港北區田奈國民學校

戸塚區小菅ヶ谷戸主會

足柄上郡福澤村道路愛護會

◎新居國土局長の着任と挨拶

十月二十九日新國土局長新居善太郎氏は着任せられ、翌三十日には第三會議室に國土局員の參集を求め一場の挨拶をされた。即ち「永らく離れて居たが、非常の親しみとなつかしみを以て歸つて來た。親しき方々と朗かな氣持で仕事に盡すことが出来ると思ふ。國土局の仕事は本來重要なに内部よりは外部に於て輕視し其の認識の足らざるを感じざるを得なかつたが、此頃外部に於ても其の重要性を認むるに至つた。即ち客觀的に非常の強さを見るに至つた。故に國土局として本來の使命を遂行するには今日は尤も適切なる好時期である。今や時局は重大である。人々付きて見れば實に適材なるも個々別々では何事も爲し得ない、兎

◎道路功績者の表彰

本會道路功績者表彰規程に依り左の通り表彰し、關係地方廳に傳達方を依頼せり。

△昭和十六年十一月十五日

表彰狀 神奈川縣足柄上郡金田村道路愛護會

に角打つて一丸となつて仕事を遂行することは、更らに大切である。相互に親しみ朗かにして大御心にそひ奉らねばならぬ。外に向つては親切を盡し内に於ては仲よく打ちとけて仕事に從ふて行くことが緊要である。

國土局全員が其體力を擧げて御奉公することが其責務である。願くば上下心を一にし私の言ふ所に不審なれば腹減なく申出てられて、心にわたかまりなく何分にも相親しみ相勵まし、其任務を完ふせられんことを切望する」(要旨)と述べられて訓示せられた。

◎河川協會總會 河川協會に於ては十一月六日午後鐵道會館に第二回總會を開いた。會する者二百有餘名、先づ宮城遙拜皇軍武運長久祈願を行ひ、次で開會、會長堀切善次郎氏議長となり、内務大臣遞信大臣及農林大臣の祝詞朗讀、議事に入り、諸般の報告あり、議案三十二件を審議了し、次で協議に入り閉會す。更に晩餐會を開き、會裡に散會。

◎子爵阪谷芳郎氏 同氏は永らく病床にあられたが、十一月十四日逝去せられた。其生前特別の功勞を御恩召され子爵を授けられる。

◎全日本科學技術團體聯合會第一回代表委員總會 全日本

科學技術團體聯合會第一回代表委員總會は去十一月二十一日午後四時東京學士會館に於て開會、結成後の經過並に會計報告を承諾し次て定款、專門部會規則、事業計畫、昭和十六年度殘期間收入

支出豫算概算、昭和十七年收入支出豫算概算を可決散會。本會より代表者牧彥七博士出席された。

◎内務省土木試驗所報告及褒報頒布

實費を以て土木試驗所報告及褒報を頒布される様になつた事は既報の通であるが、新刊の内容は左記の通である實費頒布に關する詳細は左記に照會の事

東京市本郷區駒込上富士前二六

内務省土木試驗所 一如會

振替 東京一七五一八二

記

一、土木試驗所報告第六十三號(實費一圓送科共)十月發行

内 容

風速と波高との關係に就て

國產電極棒に依る熔着鋼の強度に就て

コンクリートの透氣性に關する試驗(第二報)

貧配合コンクリート鋪裝の磨耗試驗

低溫養生と標準養生とに依るコンクリートの強度の比較に就て

土の突固め試験に基く土質適性的判定並に施工

基準設定の方針に就て

(福島技師)

(星埜技師)

一、土木試驗所報告第六十四號(實費一圓送科共)十二月發行の

豫定

内 容

けるセメントコンクリート舗装に就て)

- 鐵道之研究 (九月號)

天然凝結材に關する調査並に試験

(松本技手)

- 東大陸 (十一月號)

開水路に於ける石炭粒の掃流運動に關する試験 (佐藤技師)

(本間囑託)

- 港灣 (第一九卷一號)

日本海岸の漂砂に就て (佐藤技師)

(松尾技師)

- 大阪商工會議所月報 (第四一三號)

内 容

港灣の埋立地に於ける地震の加速度及周期に關する調査 (第二報)

(佐藤技師)

- 土木試験所彙報第十八號 (實費一圓送料共) 十一月發行

管水路並に開水路に於ける平均流速公式に就て (佐藤技師)

(福島技師)

- 土木試験所彙報第十九號 (實費一圓送料共) 十二月發行豫定

内 容

最近に於けるセメントの品質及セメント界の趨勢に就て

(福島技師)

尙實費頒布は既報の通報告は第六十一號より彙報は第十七號より開始したのであるが報告第六十二號は都合に依り頒布されない

- 近刊圖書雑誌 (寄贈交換)

- 土木學會誌 (第二七卷一〇號)

(鷹部慶平氏) 耐彈性新型長大徑間の橋梁に就て

- セメントコンクリート道路 (第六七號)

(田嶋清雄氏) 貧配合コンクリート鋪裝、山田元氏、特屬下に於

- 斯民 (十一月號)

- 都市問題 (第三三卷五號)

- 法律時報 (第一三卷一一號)

- 水道協會雜誌 (一月號)

- 土木滿洲 (第一卷七號)

- 觀光 (十一月號)

- 石油時報 (十一月號)